

○水生生物モニタリング調査結果一覧（新田川E）

<新田川E 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
E-2 a	○	○	○	○	○	○

<新田川E 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R1.12.5	09:06	09:15	6.6	7.0	砂	2.5Y3/2	なし	0.30	>50		

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R1.12.5	09:06	7.2	<0.5	1.7	11.5	6.9	0.04	0.8	4	2.3	0.0034	0.047	0.0015

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R1.12.5	09:15	7.6	408	11.8	1.2	2.0	2.690	51.6	31.1	6.8	7.4	1.3	1.8	2.0	9.5	19	280	0.31

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
E-2 b	新田川本流	37.6635°	140.9452°	R1.12.2	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.014	—	—	—	491	31	460	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ <sup>*</sup>	ヘビトンボ <sup>*</sup>	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	43	0.025	幼虫	—	—	15	N.D. (1.2)	15	—
					節足動物	軟甲	エビ <sup>*</sup>	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	8	0.098	未成体	—	—	47.2	3.2	44	—
					脊椎動物	硬骨魚	カジカ <sup>*</sup>	カジカ	<i>Cottus pollux</i>	カジカ	5	0.043	未成魚	—	—	22	N.D. (1.6)	22	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	73	1.2	未成魚/成魚	—	—	48.6	3.6	45	0.54
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ <sup>*</sup>	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	18	0.073	未成魚/成魚	—	—	32.0	2.0	30	—
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ <sup>*</sup>	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ									
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.23	—	—	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。